

2025年度第2四半期（中間期） 決算説明会

2025年11月6日

本日の出席者



伊藤 毅

代表取締役社長 兼 CEO

| 発表
| Q&A



越路 和朗

執行役員
チーフ ファイナンシャル オフィサー

| 発表
| Q&A



ピーター・サルスティグ

執行役員
チーフ メディカル オフィサー

| Q&A

Agenda

- 01 Executive Summary P. 4
- 02 第2四半期（中間期）業績と通期予想 P. 9
- 03 Appendix P. 14

Executive Summary

2025年度第2四半期 (中間期) 業績



- 売上収益：1,379億円（前年同期比-5.8%）、コア営業利益：223億円（同-25.0%）
- 今期は売上・利益ともに下半期偏重のため、想定通りの進捗

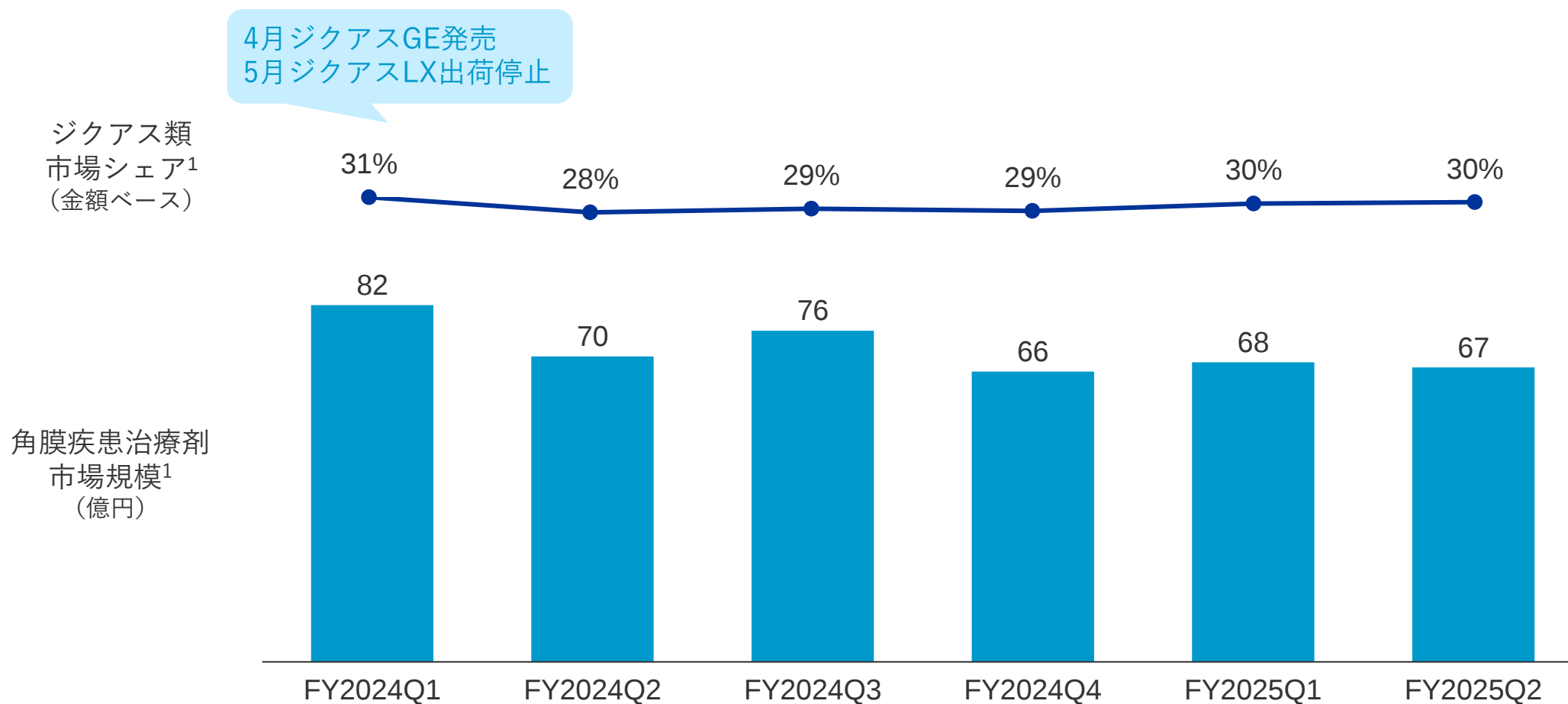
事業関連Update



- ジクアスLXは、12月上旬より出荷再開予定
- 近視進行抑制薬は日本で計画通り進捗、
欧州でも唯一の承認薬としてドイツに続き各国での上市を計画中
- 緑内障薬タプコム及びセタネオをそれぞれ中国及び日本で上市
- 後眼部疾患領域に関する事業開発案件を2件獲得

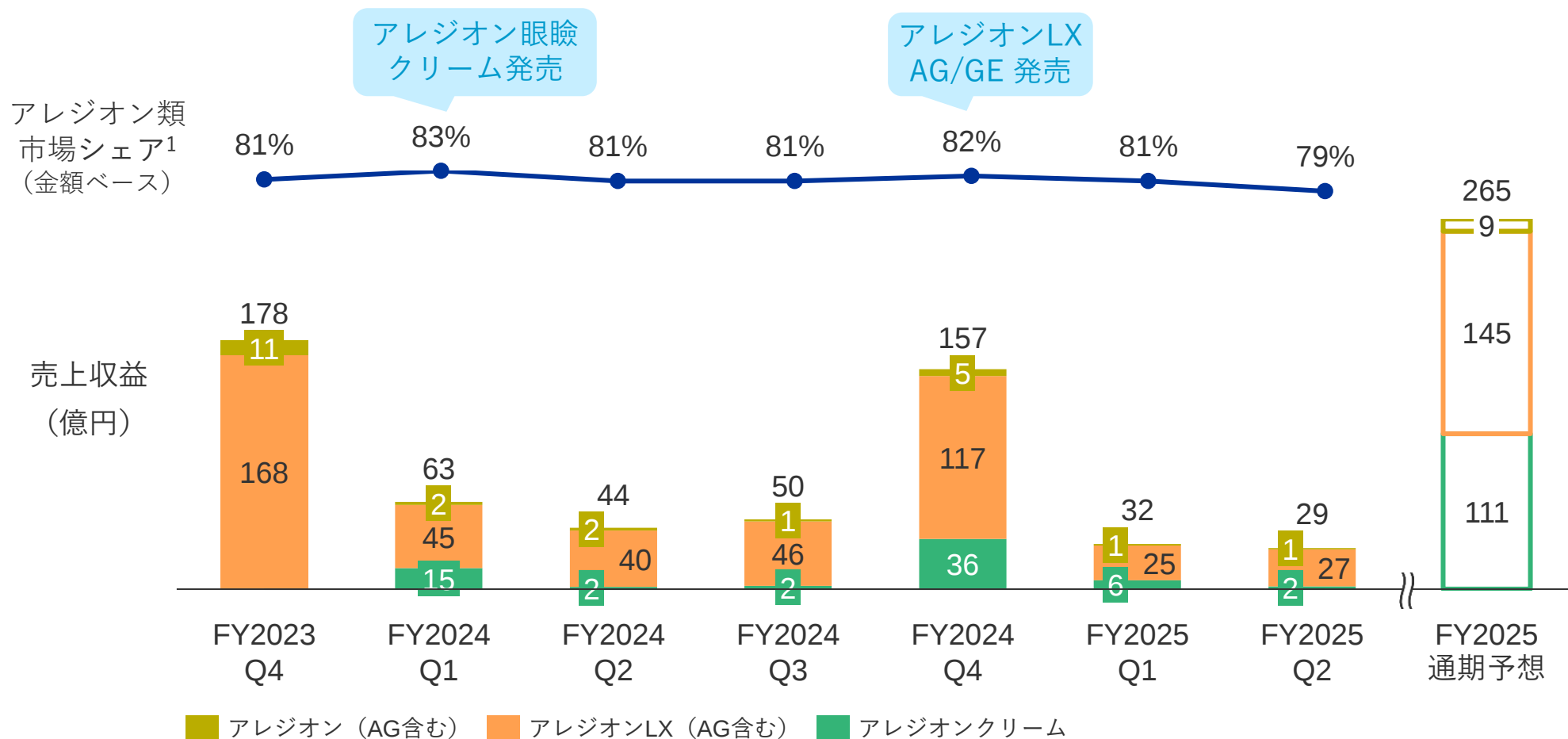
日本でのジクアス類の現状

ジクアスGE発売以降も角膜疾患治療剤市場でのジクアスのシェアは維持。
ジクアスLX（2023年度日本売上収益133億円）は12月上旬より出荷を再開予定



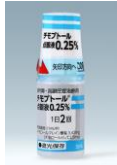
日本でのアレジオン類の現状

アレジオン類シェアは維持されており、第4四半期にアレジオンクリーム¹の更なる浸透を図る



緑内障ポータルフォリオ

連結売上収益の約1/4を占める緑内障薬は、各地域で新製品を拡充

● 上市品 ● 開発品 ● 中計で 言及した 注力品	プロスタノイド受容体関連薬				β遮断薬	その他の機序の単剤				配合剤			デバイス
													
	セタネオ	Catilanze	エイベリス	タプロス	チモプトル	Rhopressa	デタントール	トルソプト	サンピロ	Rocklatan	タプコム	コソプト	マイクロシャント
	新製品					新製品				新製品			
	日本	2025/10 上市	●	●	●	●	2025/7 申請	●	●	●	● P3	●	●
中国		● P3	●								2025/8 上市		
EMEA		●	●	●	●	●		●		●	●	●	●
アジア		● 申請中	●	●	●	●		●		●	●	●	●

7 ※主要製品のみ記載。製品/地域によって1回使い切りボトルも含む。中国は国家医薬品监督管理局の承認を得て上市/承認を得るべく開発中のもののみを記載

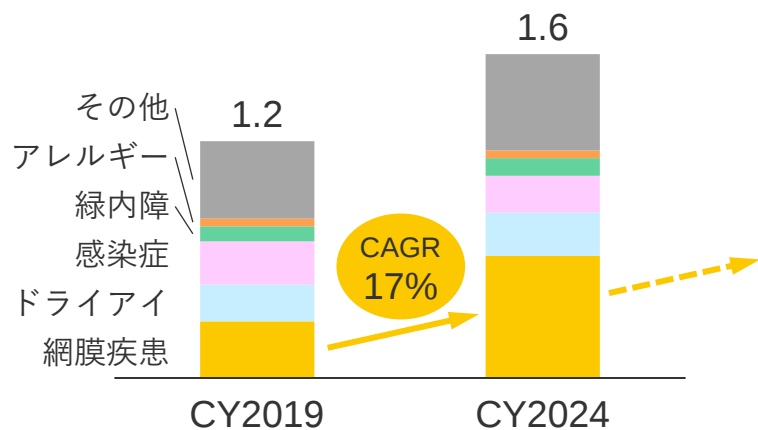
事業開発

中国、アジアでの後眼部疾患領域へ参入（未参入市場への参入）

中国 RC28-E（STN1014300/01）

- 抗VEGF/FGF二重標的融合タンパク質硝子体内注射剤
- RemeGen社より中国本土など¹での開発製造販売権を獲得
- 中国で2025年9月にDME²治療薬として申請、wAMD³を対象としたP3試験実施中（2025年度終了予定）
- 中国の治療が必要な患者数
DME：570万人⁴
wAMD：381万人⁵

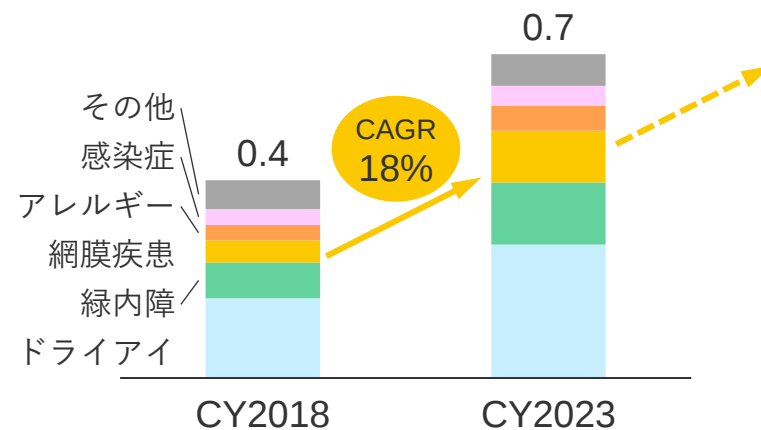
中国眼科薬品市場（10億ドル）⁶



韓国 ベオビュ、ルセンティス

- 抗VEGF硝子体内注射剤
- ノバルティス社より韓国での流通及び独占販売権を獲得
- 両剤とも保険償還対象
- 韓国の網膜疾患患者数約100万人⁷

韓国眼科薬品市場（10億ドル）⁶



CY2024より一部データの提供が中止されているためCY2023を最新データとして参照

8 1 中国本土、台湾、香港、マカオ、韓国、タイ、ベトナム、シンガポール、フィリピン、インドネシア、マレーシア 2 糖尿病黄斑浮腫 3 滲出型加齢黄斑変性

4 Chinese Journal of Experimental Ophthalmology, 2018; 36(6): 401-403. 5 J Glob Health. 2017 Dec;7(2):020703.

6 出典：Copyright © 2025 IQVIA. IQVIA MIDAS 2018.1Q-2024.4Qを基に当社分析 無断転載禁止 7 40歳以上人口、公的調査及び学術論文に基づく参入推計

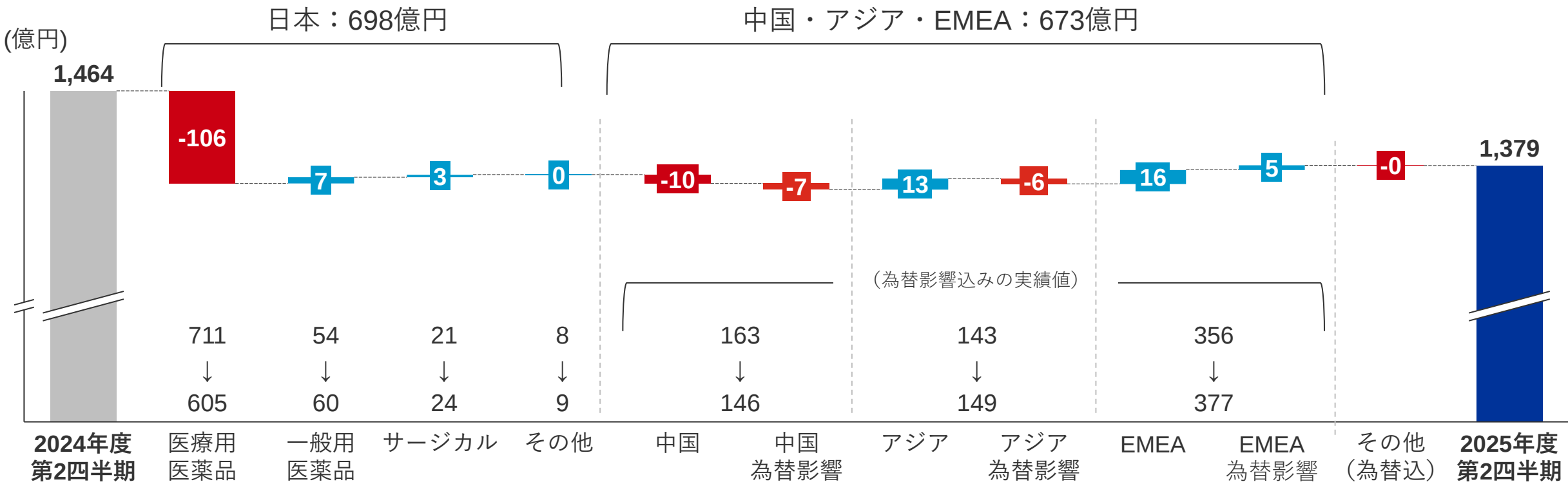
2025年度第2四半期（中間期） 実績

	2024年度	2025年度
	第2四半期実績	第2四半期実績
USD（円）	153.20	146.23
EUR（円）	166.19	167.79
CNY（円）	21.40	20.39

(単位：億円)	2024年度 第2四半期		2025年度 第2四半期				
	実績	対売上 収益比率	Q1 QTD	Q2 QTD	実績	対売上 収益比率	対前年同期 増減率
売上収益	1,464	-	687	691	1,379	-	-5.8%
売上原価	635	43%	316	291	607	44%	-4.5%
売上総利益	829	57%	371	401	772	56%	-6.9%
販売費及び一般管理費	422	29%	212	213	425	31%	+0.7%
研究開発費	109	7%	62	62	124	9%	+13.0%
コア営業利益	297	20%	97	126	223	16%	-25.0%
製品に係る無形資産償却費	45	3%	22	23	44	3%	-1.3%
その他の収益	2	0%	2	2	4	0%	+101.4%
その他の費用	16	1%	1	2	4	0%	-76.4%
営業利益	239	16%	76	103	179	13%	-25.0%
金融収益	10	1%	6	3	9	1%	-12.4%
金融費用	10	1%	7	4	12	1%	+11.6%
税引前中間利益	238	16%	75	102	176	13%	-26.0%
法人所得税費用	51	4%	16	22	38	3%	-26.4%
(税負担率)	22%	-			21%	-	-0.1pt
中間利益	187	13%	59	80	139	10%	-25.9%
親会社帰属中間利益	188	13%	59	81	139	10%	-25.7%
コア中間利益	232	16%			175	13%	-24.6%
EBITDA	343	-			271	-	-21.0%

- 対業績予想比
売上・利益共に計画通りの推移
- 対前年比
 - 売上収益減少要因：
在庫調整：日本・中国
主力品薬価の市場拡大再算定：日本
 - 販管費：
ほぼ横ばい。メリハリある支出
 - 研究開発費：
パイプライン進捗に伴う増加

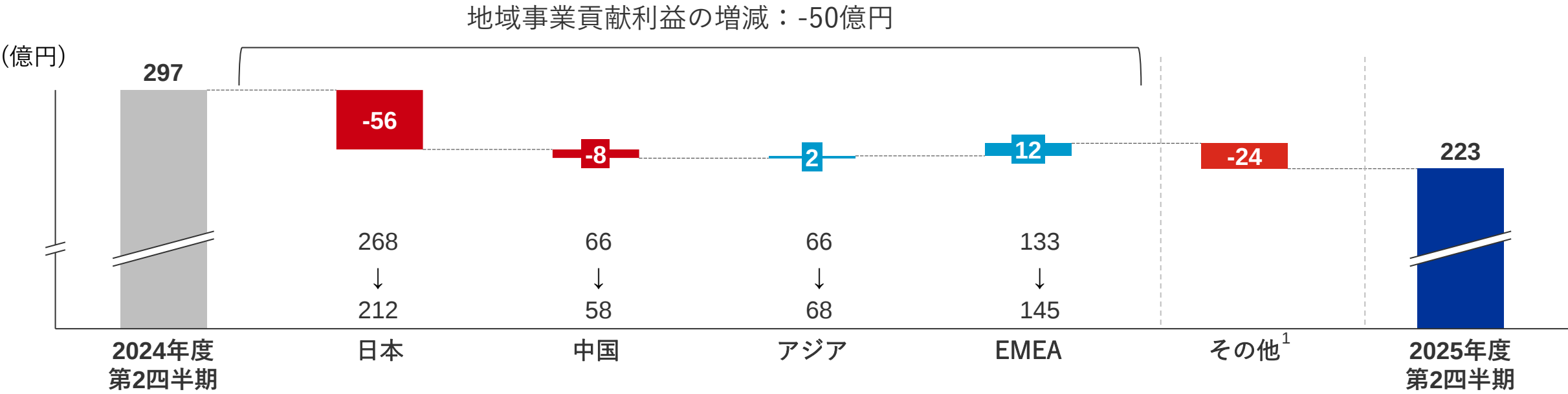
2025年度第2四半期（中間期） 売上収益増減要因



日本	対前年同期 -12.1%：アレジオン類の前期末流通在庫過多及びクリーム剤の前期初期出荷の反動や市場拡大再算定による8月からの主力品薬価引き下げ
中国	対前年同期 -10.5%（為替影響除外 -6.1%）：流通在庫水準調整（クラビット、ヒアレイン）及びジクアス売上減があったものの回復基調
アジア	対前年同期 +4.6%（為替影響除外 +9.1%）：緑内障やドライアイ製品が堅調に推移
EMEA	対前年同期 +6.0%（為替影響除外 +4.5%）：緑内障新製品は順調

10 ※顧客の所在地をもとに国または地域に分類。 EMEA：欧州・中東・アフリカ地域。香港は中国に含む

2025年度第2四半期（中間期） コア営業利益増減要因



地域事業 貢献利益の増減	日本
	前年比減益だが、計画通りの進捗。
	海外（為替影響込み）
	中国：前年比減益だが、計画通りの進捗。
	アジア：堅調な売上推移により増益を確保。計画をやや上回る進捗
その他増減	EMEA：堅調な売上推移により増益を確保。計画通りの進捗
	R&D費用等の増加による影響

¹¹ 1 各地域およびグローバルでのR&Dや間接部門等の費用等、および上記以外の地域に関連する貢献利益。※香港は中国に含む

2025年度 連結業績予想（5月13日開示より変更なし）

	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想
USD（円）	152.70	145.00
EUR（円）	163.57	160.00
CNY（円）	21.29	20.50

	2024年度		2025年度			
	実績	対売上 収益比率	予想	対売上 収益比率	対前期 増減率	第2四半期 進捗率
売上収益	3,000	-	2,940	-	-2.0%	46.9%
売上原価	1,290	43%	1,230	42%	-4.6%	49.3%
売上総利益	1,710	57%	1,710	58%	-0.0%	45.1%
販売費及び一般管理費	875	29%	920	31%	+5.1%	46.2%
研究開発費	241	8%	250	9%	+3.7%	49.5%
コア営業利益	594	20%	540	18%	-9.1%	41.3%
ノンコア費用	4	0%	-	-	-100.0%	
製品に係る無形資産償却費	88	3%	87	3%	-1.3%	
その他の収益	6	0%	7	0%	+18.8%	
その他の費用	39	1%	20	1%	-48.1%	
営業利益	469	16%	440	15%	-6.1%	40.7%
金融収益	40	1%	13	0%	-67.5%	
金融費用	27	1%	14	0%	-48.5%	
持分法による投資損失	7	0%	-	-	-100.0%	
税引前当期利益	475	16%	439	15%	-7.5%	40.2%
法人所得税費用	116	4%	104	4%	-10.6%	
(税負担率)	25%	-	24%	-	-	
当期利益	359	12%	335	11%	-6.6%	41.4%
親会社帰属当期利益	363	12%	340	12%	-6.2%	41.0%
ROE	12%		12%			
EPS（IFRS）円	104	-	103	-	-1.3%	40.7%

■ 売上変動要因

国内

- 花粉飛散期におけるアレジオンクリーム
の浸透

海外

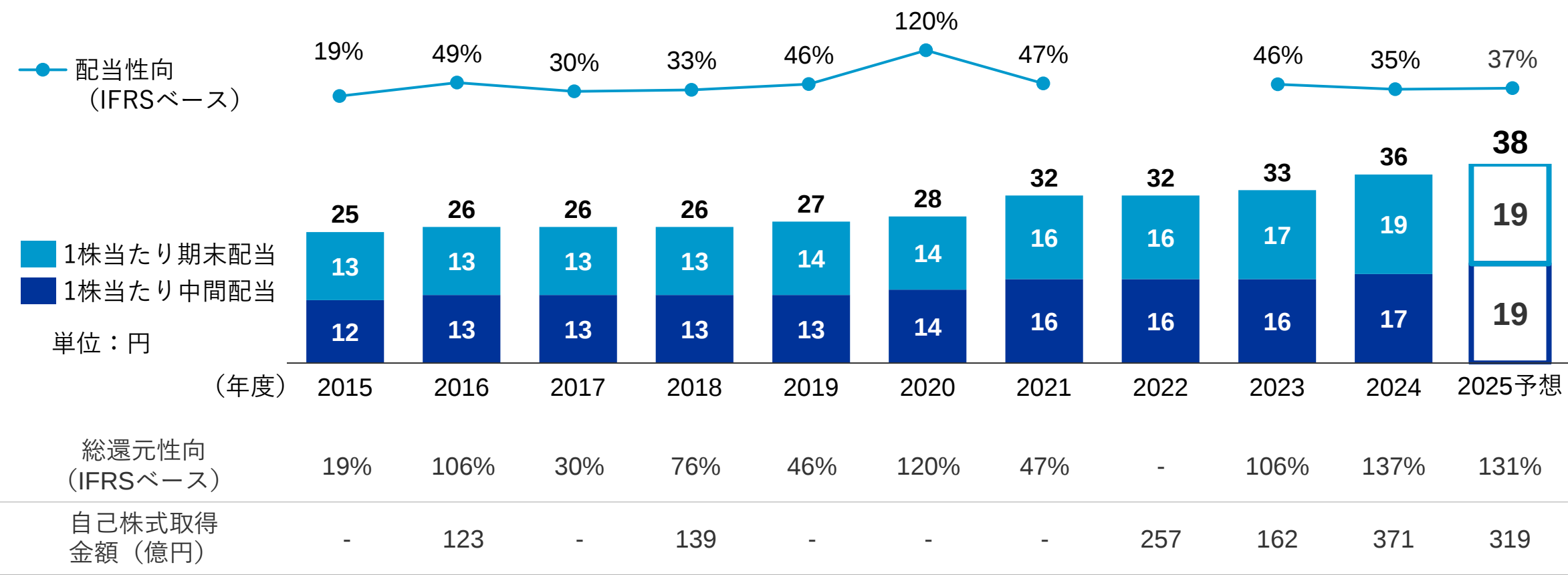
- 中国における流通在庫水準の平常化等

■ コア営業利益変動要因

- 研究開発費は計画通り優先的に投下
- 上記売上に基づく製品構成変化による
上期比原価率改善
- 販管費は売上・粗利が変動した場合でも、
レジリエントに管理し、利益確保

株主還元

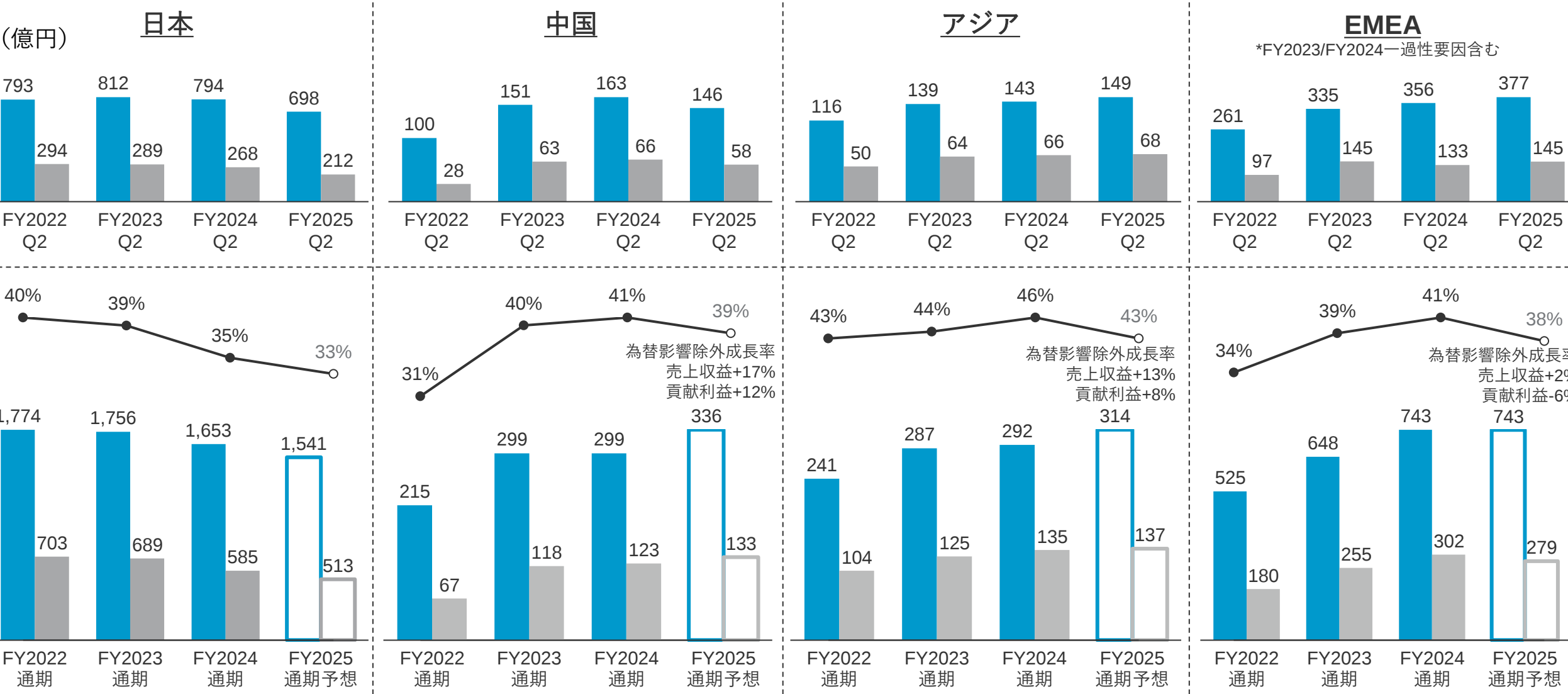
- 中間配当19円、 期末配当予想19円（年間2円増配）
- 2025/5/22～11/5 に319億円、19,800,000株の自己株式取得を完了。2022年度から発行済み株式数の20%を圧縮



Appendix

地域別売上収益・貢献利益

売上収益 貢献利益 貢献利益率

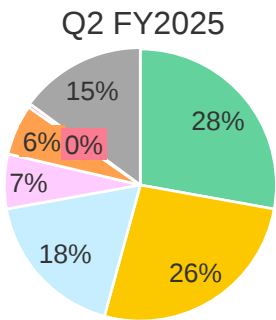


15 貢献利益：各地域の売上収益からその地域の売上原価および売上創出に関連する費用を控除したもの。貢献利益の算出には各地域事業に直接貢献する売上収益を用いており、必ずしも仕向地別売上収益と一致しておりません。2023年度に実施した海外地域の組織変更影響を反映しています。香港は2023年度まではアジアに、2024年度以降は中国に分類されています。

2025年度第2四半期（中間期） 仕向地域別売上収益

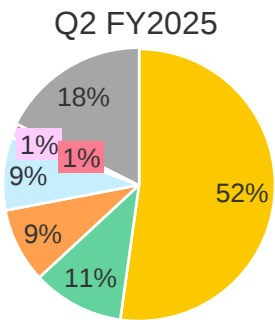
連結合計

YTD	Q2 FY2024 (参考)	Q2 FY2025
アイリーア 硝子体内注射液 ¹	392億円	364億円
コソプト配合点眼液	141億円	132億円
ヒアレイン点眼液	90億円	81億円
その他	842億円	802億円
合計	1,464億円	1,379億円



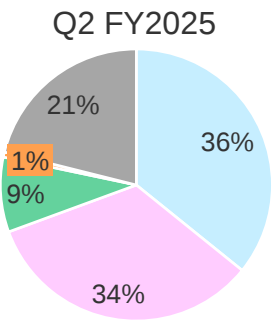
日本

YTD	Q2 FY2024 (参考)	Q2 FY2025
アイリーア 硝子体内注射液 ¹	392億円	364億円
アレジオン点眼液 ²	106億円	62億円
ジクアス点眼液	33億円	35億円
その他	263億円	238億円
合計	794億円	698億円



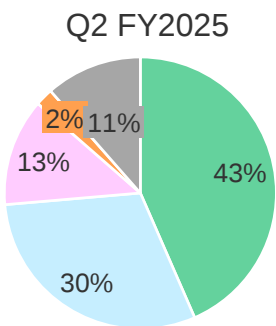
中国

YTD	Q2 FY2024 (参考)	Q2 FY2025
クラビット点眼液	51億円	42億円
ヒアレイン点眼液	45億円	42億円
タプロス点眼液	12億円	12億円
その他	55億円	50億円
合計	163億円	146億円



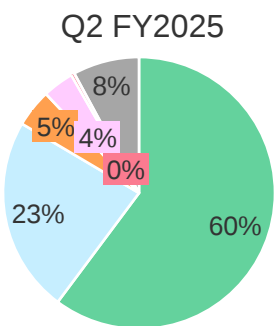
アジア

YTD	Q2 FY2024 (参考)	Q2 FY2025
コソプト配合点眼液	35億円	34億円
ヒアレイン点眼液	19億円	20億円
クラビット点眼液	13億円	14億円
その他	76億円	82億円
合計	143億円	149億円

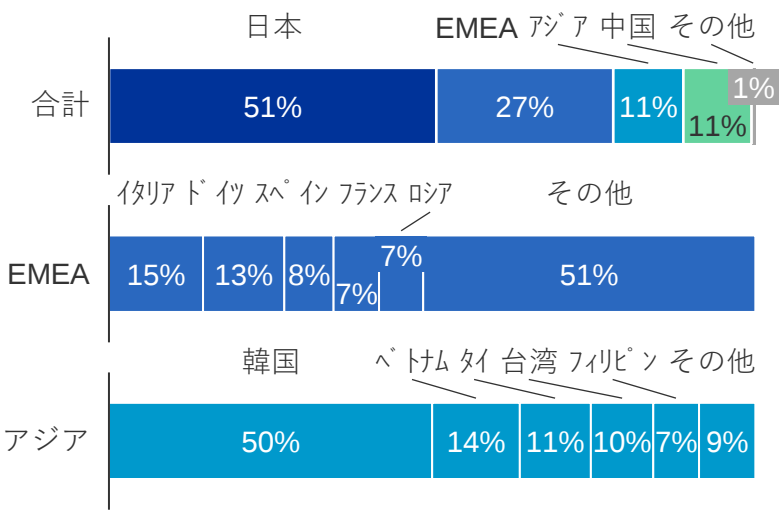


EMEA

YTD	Q2 FY2024 (参考)	Q2 FY2025
コソプト配合点眼液	90億円	89億円
Ikervis	43億円	51億円
タプロス点眼液	43億円	43億円
その他	180億円	195億円
合計	356億円	377億円



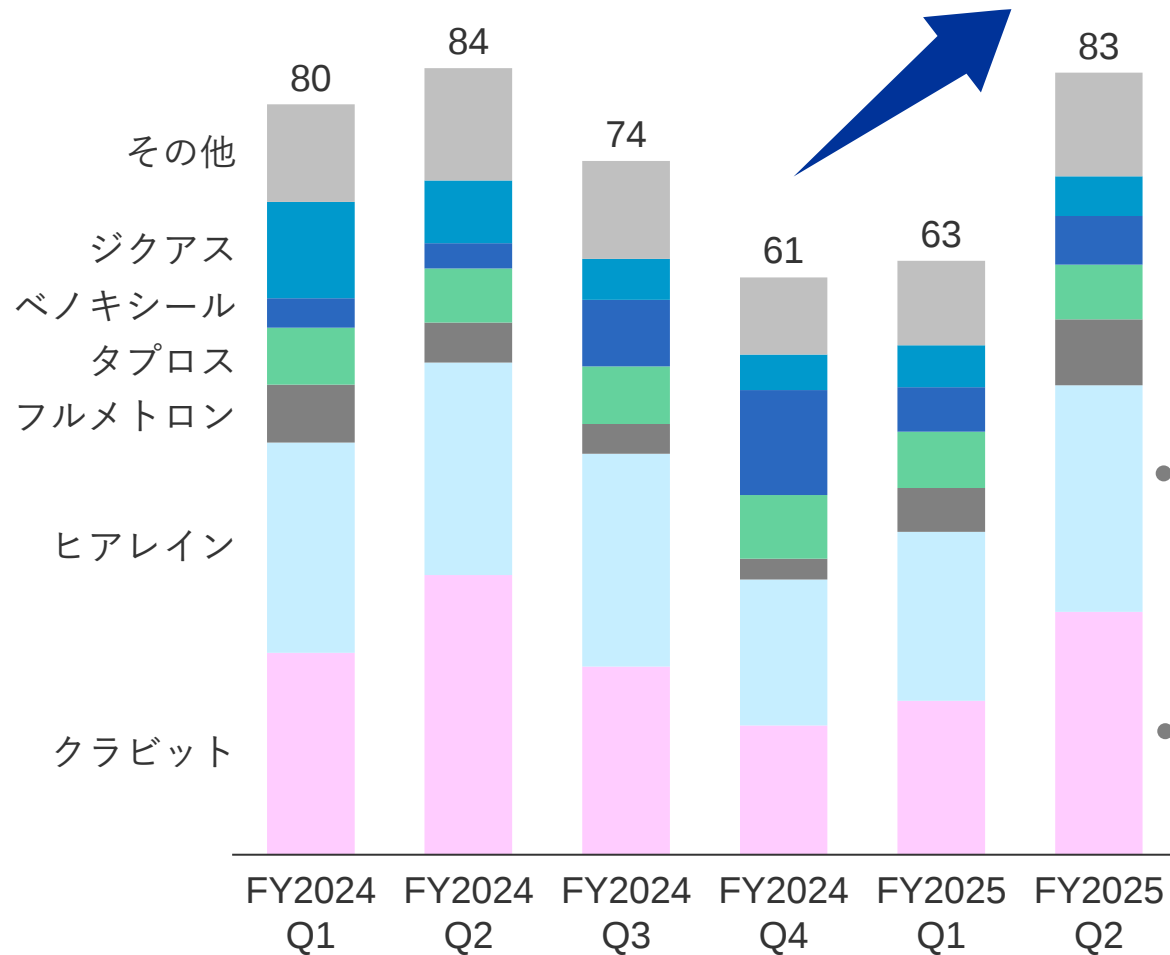
主要国・地域別売上比率（Q2 FY2025）



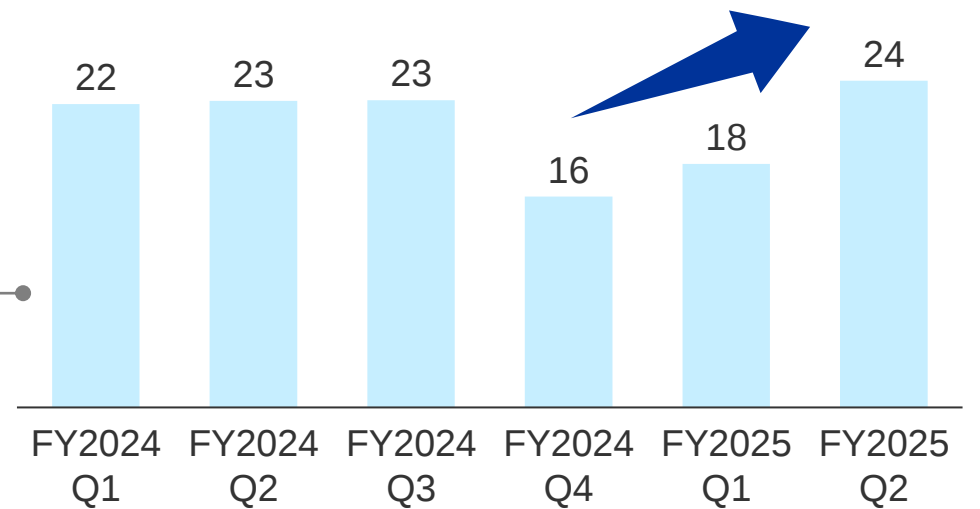
¹ 製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品。アイリーア8mgを含む
² アレジオン：提携パートナーであるBoehringer Ingelheim KGの商標。アレジオンLX・アレジオン眼瞼クリーム・エピナスチン塩酸塩点眼液・エピナスチン塩酸塩LX点眼液を含む

中国売上推移

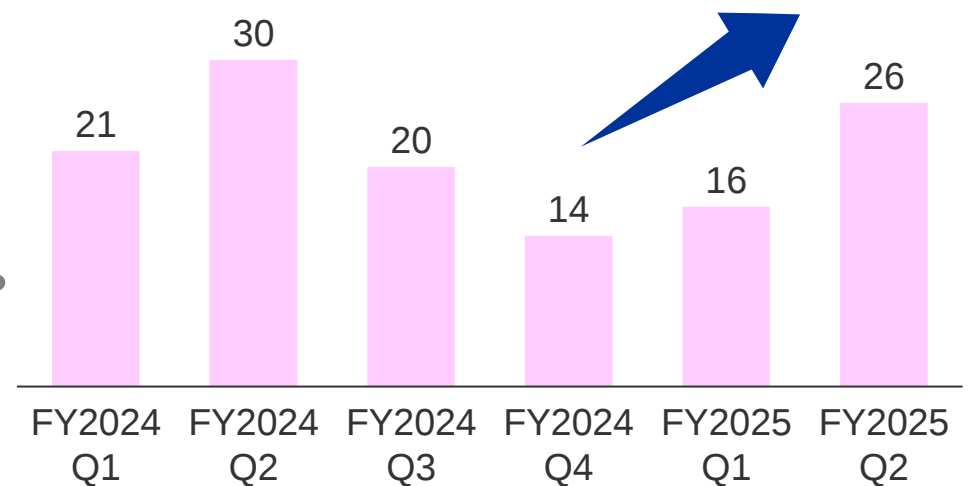
中国四半期別売上推移（億円）



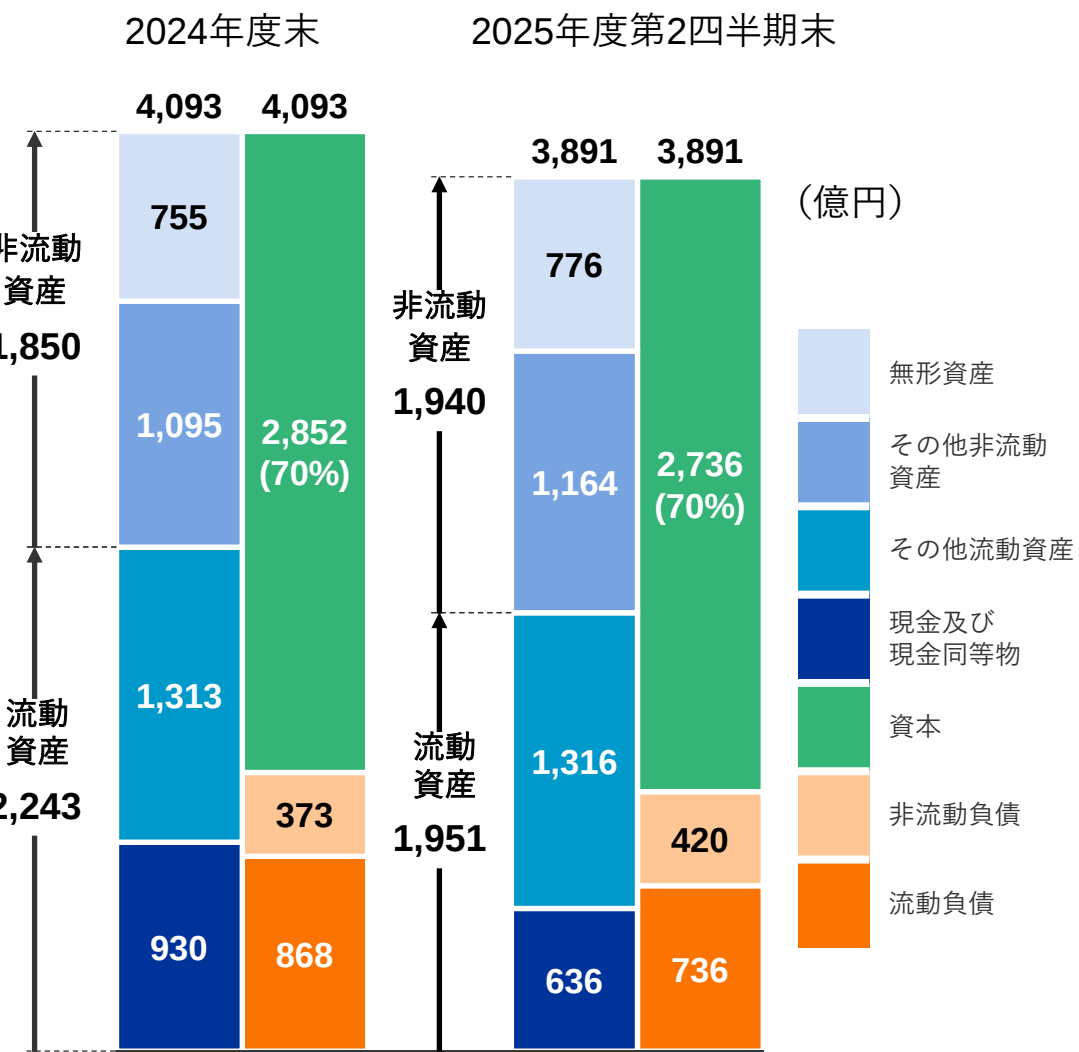
中国ヒアレイ四半期別売上推移（億円）



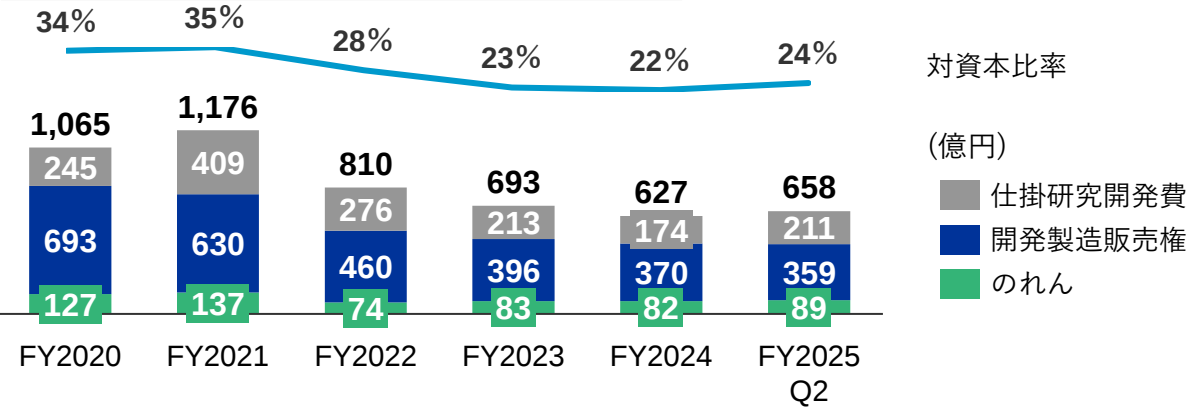
中国クラビット四半期別売上推移（億円）



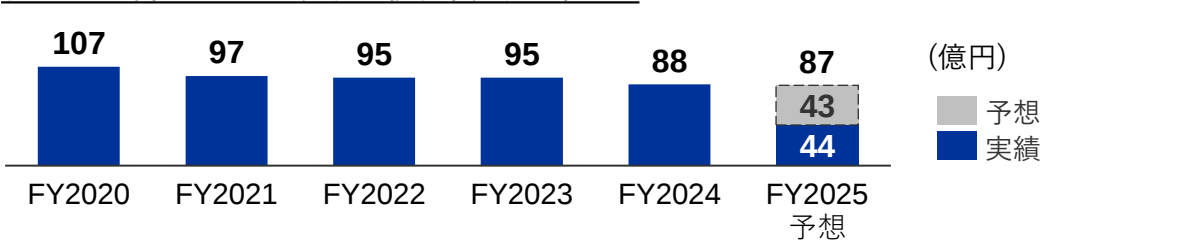
B/Sを含む財務状況



製品に係る無形資産・のれんの状況



製品に係る無形資産償却費の状況



ROE・ROIC・CCC¹

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 Q2	FY2025 予想
ROE	3%	8%	-	9%	12%	-	12% ²
ROIC	5%	12%	-	16%	18%	-	17% ³
CCC	220日	190日	194日	167日	170日	207日	165日

1 キャッシュ・コンバージョン・サイクル：売上債権、棚卸資産、事業関連費用の回転日数をベースに算出 2 自己株式の取得を含む 3 ファクタリングを含む

キャッシュ・フロー

2021年度末

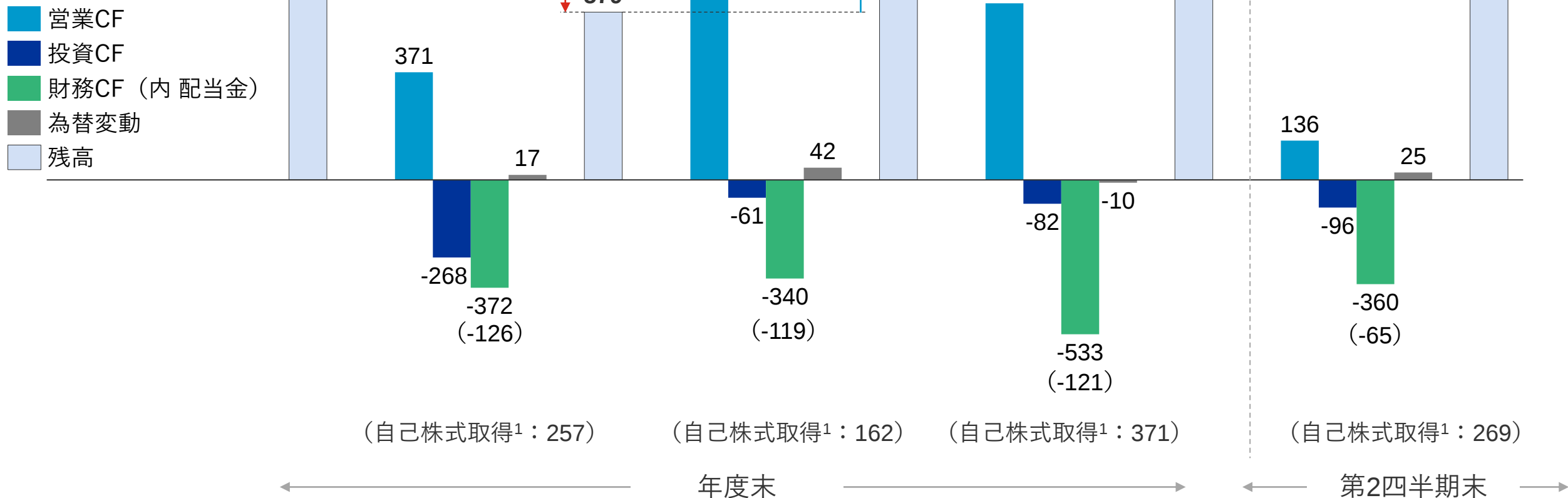
2022年度末

2023年度末

2024年度末

2025年度
第2四半期末

(億円)



外国為替レート前提と感応度

為替レート前提

(円)

	2024年度 第2四半期 実績	2025年度 第2四半期 実績	2025年度第2四 半期 vs 2024年 度第2四半期	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	2025年度 vs 2024年度	2025年度第2四 半期 vs 2025年 度通期予想
USD	153.20	146.23	95.5%	152.70	145.00	95.0%	100.8%
EUR	166.19	167.79	101.0%	163.57	160.00	97.8%	104.9%
CNY	21.40	20.39	95.3%	21.29	20.50	96.3%	99.5%

為替感応度

2025年度業績予想における予想レート比1%円安時の影響

(億円)

	合計 ¹	USD	EUR	CNY
売上収益	+12	+0.2	+6.7	+3.3
コア営業利益	+1	-0.6	+0.7	+0.7
営業利益 (IFRS)	+1	-0.7	+0.5	+0.6

2025年度第2四半期実績為替影響

(対前期レート)

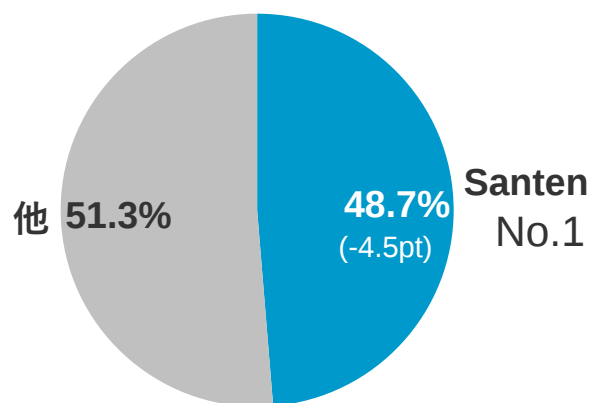
(億円)

	合計
売上収益	-9
コア営業利益	-4
営業利益 (IFRS)	-4

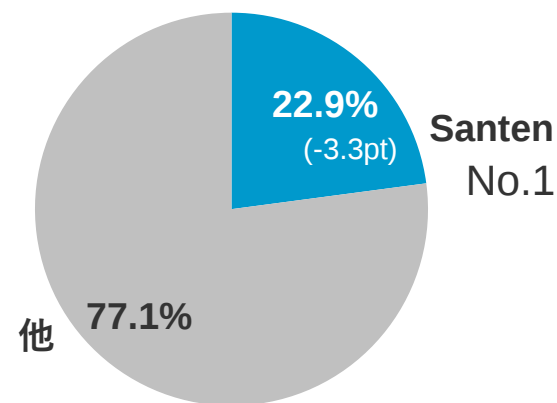
1 上記3通貨にその他主要通貨を加えた主要通貨における合計値（小数点以下四捨五入）

国内医療用眼科薬 市場概況 (2024年10月-2025年9月累計)

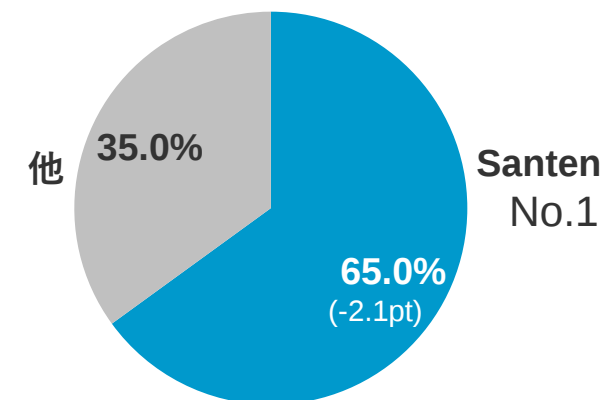
Total : 3,535億円



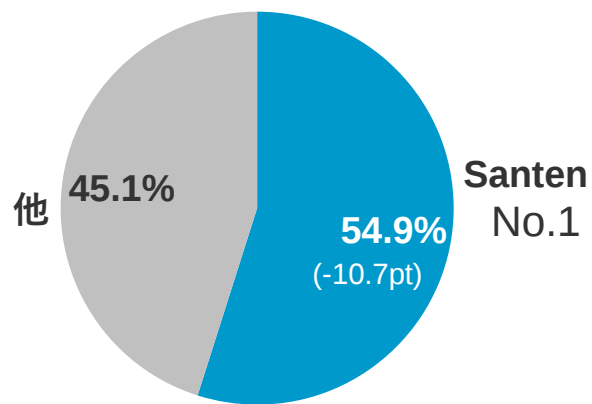
抗緑内障剤 : 737億円



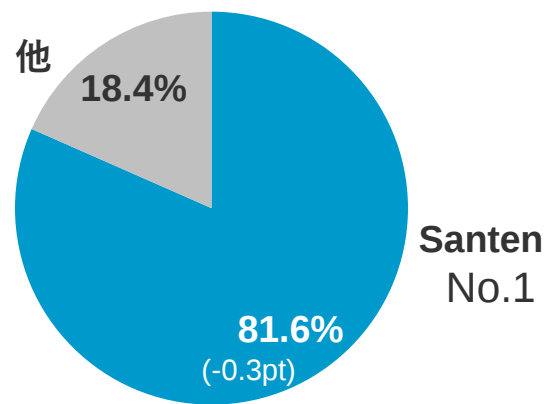
網膜疾患治療剤* : 1,436億円



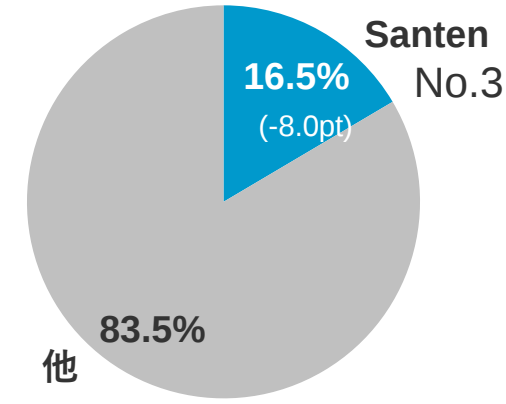
角膜疾患治療剤 : 278億円



抗アレルギー剤 : 419億円



抗菌点眼剤 : 52億円



2025年度第2四半期 R&Dアップデート

未参入市場への 参入	Eflimrufusp alfa STN1014300/RC28-E	糖尿病黄斑浮腫	中国で、申請	8月にRemeGen社より導入
	Eflimrufusp alfa STN1014301/RC28-E	滲出型 加齢黄斑変性	中国で、P3試験を実施中	
既存市場の拡大	タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩 STN1011101/DE-111A タブコム、タブティコム	緑内障	中国で、上市	
	セペタプロスト STN1012600/DE-126 セタネオ	緑内障	日本で、上市	

グローバル開発の状況①

(2025年10月現在)
青字は更新情報

緑内障・高眼圧症領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況 ¹	
緑内障	タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩 (配合剤) タプコム、タプティコム	STN10 11101 DE-111A	中国	現状：2025年8月 上市
	オミデネパグ イソプロピル エイベリスミニ	STN10 11702	中国	現状：P3 計画：2026年度 P3終了
	セタプロスト セタネオ	STN10 12600 DE-126	米国	現状：P2（主要評価項目達成）
			日本	現状：2025年10月 上市
			欧州	現状：P2（探索的試験）終了
	ラタノプロスト Catiolanze	STN10 13001 DE-130A Catioprost	欧州	現状：上市
			アジア	現状：申請 計画：2026年度 承認

¹ 試験プロトコールが社内承認されたもののみ記載。

グローバル開発の状況②

(2025年10月現在)
青字は更新情報

緑内障・高眼圧症領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
緑内障	ネタルスジル メシル酸塩 Rhopressa®/Rhokiinsa®	STN10 13900 AR-13324	日本	現状：申請 計画：2026年度 承認
			欧州	現状：上市
			アジア	現状：上市
	ネタルスジル メシル酸塩・ ラタノプロスト (配合剤) Rocklatan®/Roclanda®	STN10 14003	日本	現状：P3 計画：2027年度 P3終了
		STN10 14000 PG-324	欧州	現状：上市
			アジア	現状：上市

グローバル開発の状況③

角結膜疾患（ドライアイを含む）領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
春季カタル	シクロスポリン Verkazia	STN1007603 DE-076C	中国	現状：承認 計画：2025年度 上市
ドライアイ	オロダテロール 塩酸塩	STN1014100	日本	現状：P2b 計画：2026年度 P2b終了
フックス 角膜内皮 ジストロフィ	シロリムス (点眼剤)	STN1010904 ¹	米国 フランス インド	現状：P2a 計画：2025年度 P2a終了
マイボーム腺 機能不全	シロリムス (点眼剤)	STN1010905	日本	現状：追加P2a 計画：2025年度 追加P2a終了
アレルギー性 結膜炎	エピナスチン塩酸塩 (眼瞼クリーム)	STN1011402	日本	現状：上市
			中国	計画：2025年度 P3開始
			アジア	計画：2025年度 申請
	エピナスチン塩酸塩 (1日2回点眼)	STN1011403	中国	現状：申請 計画：2026年度 承認
翼状片	ニンテダニブ	STN1014200 CBT-001	日本	計画：2025年度 P2b開始

1 当該プログラムはSantenが独占的实施権の行使オプションを保有。本プロジェクトコードは、第Ⅱ相臨床試験終了時にSantenが独占的实施権を獲得した後に附番予定のコードです。

グローバル開発の状況④

(2025年10月現在)
青字は更新情報

屈折異常領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
近視	アトロピン硫酸塩 リジュセアミニ、Ryjunea	STN10 12700 DE-127	日本	現状：上市
			中国	現状：P2/3 計画：2026年度 P2/3終了
			アジア	現状：申請 計画：2026年度 承認
		STN10 12701 SYD-101	欧州	現状：上市

網膜疾患領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
糖尿病黄斑浮腫	Eflimrufusp alfa	STN10 14300 RC28-E	中国	現状：2025年9月 申請 計画：2027年度 承認
滲出型 加齢黄斑変性	Eflimrufusp alfa	STN10 14301 RC28-E	中国	現状：P3 計画：2025年度 P3終了
網膜色素変性症	jCell	STN 6000100	—	現状：jCyte社P3試験計画策定中

グローバル開発の状況⑤

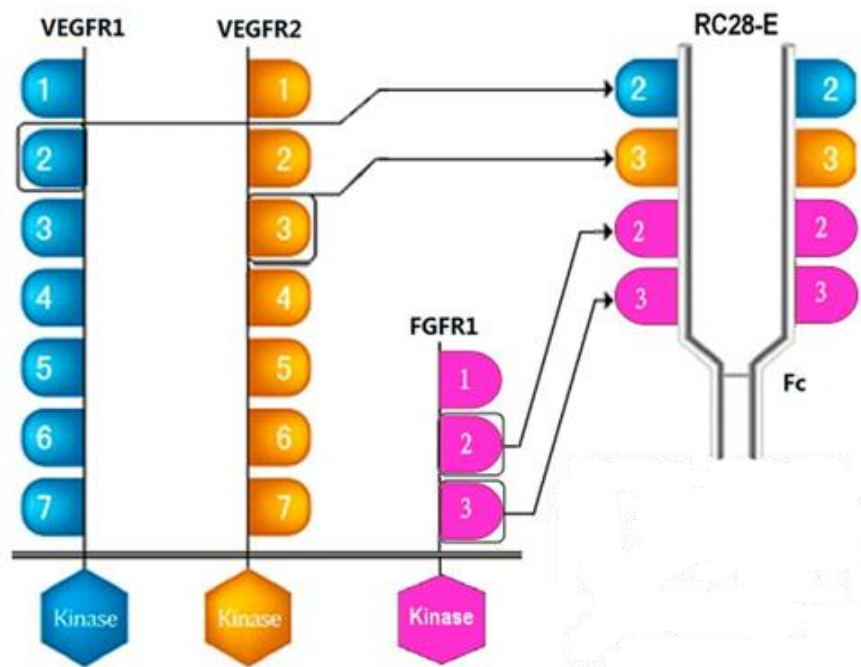
(2025年10月現在)
青字は更新情報

その他の領域

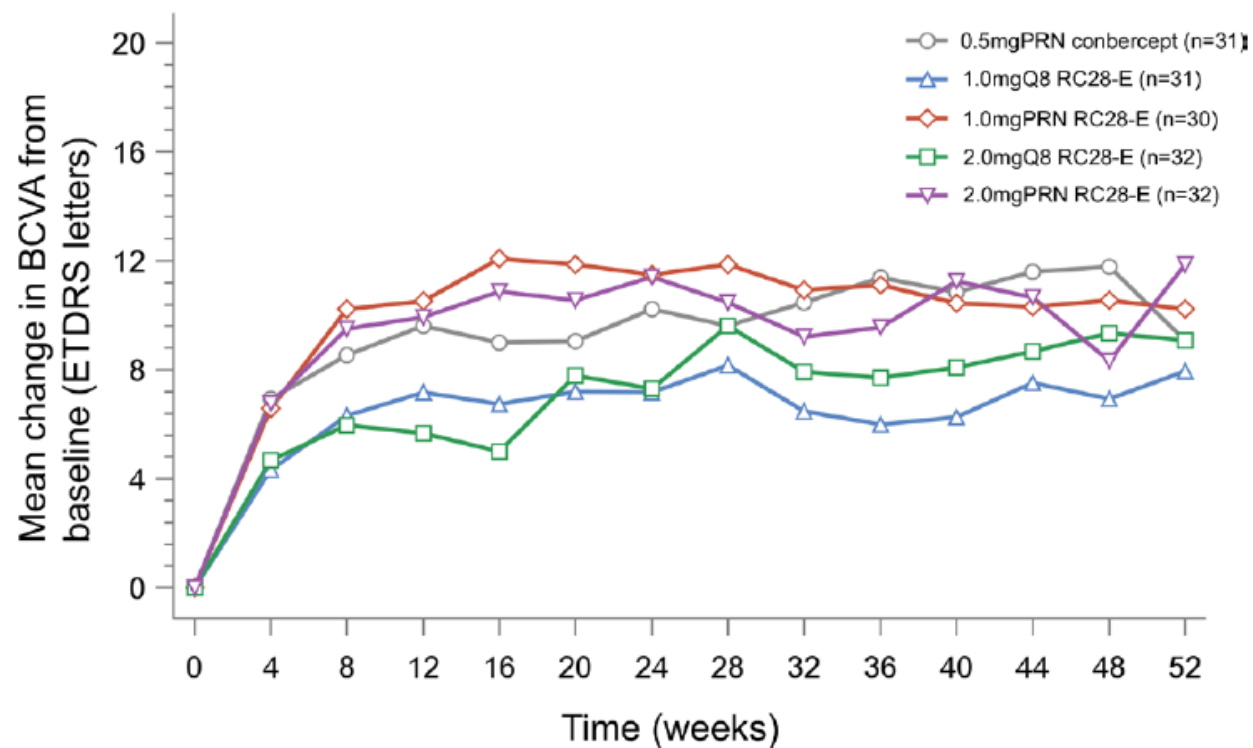
効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
眼瞼下垂	オキシメタゾリン 塩酸塩	STN101 3800 RVL-1201	日本	現状：申請 計画：2025年度 承認
			欧州	現状：P3 計画：2026年度 P3終了
			中国	現状：P3 計画：2026年度 P3終了
			アジア	計画：2026年度 申請

RC28-E (STN1014300/01、eflimrufusp alfa) : 概要

- 一般名：Eflimrufusp alfa
- VEGFとFGFを阻害する二重標的融合タンパク質



DMEを対象としたP2試験結果



Biomolecules. 2019 Oct 24;9(11):644.

Br J Ophthalmol. 2025 Jun 23;109(7):784-790.

RC28-E（STN1014300/01、eflimrufusp alfa）：P3試験

- DMEを対象に2025年9月に中国で申請済み
- wAMDを対象に中国でP3実施中（2025年度終了予定）

P3試験デザイン		
対象疾患	糖尿病黄斑浮腫	滲出型加齢黄斑変性
ClinicalTrials.gov ID	NCT05885503	NCT05727397
群構成	2.0 mg/50 µL RC28-E 2.0 mg/50 µL アフリベルセプト	2.0 mg/50 µL RC28-E 2.0 mg/50 µL アフリベルセプト
投与頻度	0～16週：4週毎（合計5回） 20～48週：8週毎	0～8週：4週毎（合計3回） 12週～：RC28-Eは疾患の活動性が認められ無い場合12週毎、活動性が認められる場合は8週毎。アフリベルセプトは8週毎
投与経路	硝子体内注射	硝子体内注射
n数	316眼	432眼
主要評価項目	52週時点での最高矯正視力のベースラインからの平均変化量	48週時点での最高矯正視力のベースラインからの平均変化量
実施国	中国	中国
結果	アフリベルセプトと比較して非劣性を確認 詳細なデータは今後の学会などで発表予定	N/A（評価項目完了日：2025年12月）

重要な注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。また、当社は本資料の内容を随時更新する義務を負うものではありません。
- リスク要因としては、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
医薬品行政の動向、社会・経済情勢ならびに法規制の変更、為替などの外部要因。後発品の影響などの競争環境の変化。主力製品への依存、ライセンス製品への依存、原薬供給等の特定の取引先への依存などの特定の製品・取引先等への依存。新薬開発の不確実性、研究開発投資が十分な成果を生まない可能性、他社との提携の成否などの研究開発活動に起因するもの。その他知的財産権、自然災害などに伴う生産の停滞・遅延、販売中止・製品回収等の製品供給に起因するもの、訴訟およびグローバルな事業展開に関わるリスクなど。
- 本資料には、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は投資家の参考になる情報の開示を目的としており、投資の投資勧誘や推奨を行うものではありません。投資に関するご決定は皆さま自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に記載された情報は今後予告なく変更されることがあります。本資料の利用にあたっては利用者の責任であり、記載された情報の誤り等を含み本資料の利用によって生じた損害について、当社は一切責任を負うものではありません。

